

令和2年度 指定管理者運営評価シート

所管課	文化振興課
-----	-------

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市プレラホール
所在地	西宮市高松町4番8号 プレラにしのみや5階
施設概要	プレラホール(272人収容)、練習室(30人収容)、会議室(16人収容)
施設の設置目的	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与する。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	西宮地域創生共同体	指定期間	開始日	平成 30 年 4 月 1 日
	所在地	西宮市上大半2丁目5番10号		終了日	令和 5 年 3 月 31 日
選定方法		公募	評価対象年	指定期間 5 年のうち 2 年目	

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	<p>常時1名以上の職員で、ホールの受付、収納、管理、利用促進業務等の管理運営業務を実施した。設備管理、清掃などを外部に委託し、設備機器等の法令点検や定期点検等を実施した。</p> <p>舞台管理には構成団体から常駐1名の舞台要員を置いており、施設の管理や備品・設備の改善について意見交換を行い、事業に活かしている。</p>
②施設の事業・運営関係	<p>西宮市プレラホールは、貸館としてホールと練習室1室、会議室1室を設置している。</p> <p>令和元年度にプレラホールは246日開館し、利用日数は170日であった。練習室は282日開館し、利用日数は260日、会議室は285日開館し、利用日数は182日であった。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月3日から3月31日まで休館)</p> <p>プレラホールは12ヶ月前の月の1日から、練習室と会議室は6ヶ月前の月の1日から申込みを受け付けており、公平な利用を確保するために各月申込み初日に抽選を実施している。</p> <p>また、指定管理者の自主事業として令和元年度は「西宮ゴスペルクワイア」等計10件を実施した。</p> <p>労働実態調査の結果： 事業計画書に基づき、適切に実施されていることを確認した。</p> <p>調査結果後の指示事項： 特になし。</p>
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	<p>当初及び指定期間中の提案： 自主事業では、鑑賞事業のほか、構成団体の強みを生かし、芸術関連団体と連携して市民参加型の事業を行う。ホール運営においては、他ホールでの経験を活かし、利用者のニーズにきめ細やかに対応するほか、地域に根差したホールを目指す。</p> <p>取組結果： 利用者の公演内容等からニーズをくみとり、座席更新工事の際の舞台レイアウト設計に大きく貢献した。</p> <p>自主事業については、バックステージツアーを兼ねた事業を行い、ホールPRにも努めたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、3月以降の自主事業を中止せざるをえない状況となってしまった。</p> <p>また、利用者の要望をくみ上げ、舞台裏通路や控室照明のLED化を行うなど、効果的な施設の修繕を実施した。</p> <p>今後の改善点： 引き続き施設の情報や指定管理者自主事業等を積極的にPRし、施設の利用促進につなげること。 施設の改修工事や修繕について、引き続き市と随時調整を行っていくこと。</p>

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(計画)		
① ホール稼働率	%	54.4	51.4	70.0		
② 練習室稼働率	%	64.3	64.9	70.0		
③ 会議室稼働率	%	43.7	37.2	70.0		
④ ホール利用件数	件	454	378	378		
⑤ 練習室利用件数	件	592	548	493		

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	施設の使用申請手続きの際の面談で使用者の意見・要望を聴取することに加え、基本協定に基づき、年度終了後に指定管理者から施設の利用状況(利用率、目的別・使用団体別利用状況)等を含む事業報告書の提出を受けている。 年間を通じて市と緊密な連携を取り、利用者から施設利用に対する意見・苦情等が寄せられた場合に、随時報告を受け対応している。また、利用者からのニーズをできる限りの確に捉えるため、アンケートによる利用満足度の調査、要望の把握に努めている。
②利用者アンケート等の結果	アンケートでは施設使用やホールについての満足度が比較的高い。開館以降、経年劣化している空調や映像機器の改善要望が出てきている。
③結果からの改善点など	修繕や機材については、市と随時調整を行い、可能な範囲で改善に努めている。

5. 指定管理者の安定性や継続性の評価

①評価結果	人件費等で提案額を上回る執行があったが、全体としては指定管理料の範囲内で業務を実施した。また、令和元年度決算報告書を確認し、事業者の経営状況に特段大きな問題は見られないことを確認した。
②評価結果を受けての指示事項	業務に係る経費について、引き続き適切な執行に努めること。

6. 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)			
指定管理料	33,600	34,223	34,223			
うち光熱水費						
うち修繕料	(432)	(436)	440			
補足説明	光熱水費については、市が直接負担している。					

7. 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)			
使用料	25,029	19,265	25,234			
光熱水費等使用者負担金収入	43	42	42			
その他の収入	3,289	104	110			
合計	28,361	19,411	25,386			
補足説明	「その他の収入」は、主に行政財産目的外使用料(自動販売機設置手数料)である。千円未満は、四捨五入しているため、合計額が合わないときがある。					

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	仕様書等に記された業務内容については適正に実施されていた。 施設の維持管理に関しては修繕を必要とする箇所について、すみやかに修繕、補修されていた。 令和元年度は自主事業として10件実施しており、前指定管理者が実施していた事業を継続したほか、指定管理者の強みを活かした事業などを実施し、プレラホールの認知度向上に貢献している。
②指摘事項	引き続き施設の維持管理にかかる課題事項について、積極的な改善、提案に努めること。 市民がよりホールを利用し様々な体験ができるよう、引き続き積極的な自主事業の実施に努めること。